愛知県立城北つばさ高等学校 夜間部で防災講座を行いました

令和７年２月２１日（金）、愛知県立城北つばさ高等学校 夜間部の１年生２５名に防災講座を行いました。学校の近くには、庄内川や矢田川が流れています。

講座では映像を交えながら、名古屋市に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風や東海豪雨など過去に発生した水害について説明し、ＶＲによる浸水疑似体験を通じて水害の恐ろしさ、ハザードマップの確認など事前の備えの重要性や早期避難の大切さについて学んで頂きました。

また、伊勢湾台風ＡＩ語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「伊勢湾台風の被害は？」「どうやって逃げたらいいですか？」などの質問をしたり、伊勢湾台風についての三択問題を出題してもらい、対話を通して水害への理解を深めました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

また、今回が今年度最後の防災講座でした。今年度は８５校、約5,７００人に受講して頂きました。受講した皆さんの防災意識向上の一助になっていれば幸いです。